



アジアチャンピオンズトロフィー 【 男子 】

開催日時 11 月 10 日 (日) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 雨

【全試合結果】

第1試合 5・6決定戦 ----- 10:00	インド	6	$\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 3 - 1 \end{pmatrix}$	1	オマーン
第2試合 3位決定戦 ----- 12:30	中国	0	$\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 0 - 2 \end{pmatrix}$	3	マレーシア
第3試合 決勝戦 ----- 15:00	パキスタン	3	$\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 3 - 0 \end{pmatrix}$	1	日本

【各試合の結果・詳細】

第1試合

$$\text{インド } 6 \begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 3 & - & 1 \end{pmatrix} 1 \text{ オマーン}$$

<得点>

インド : 6分 #5KOTEH ATIT SINGH KHADANGBAM、11分 #4GURJINDER SINGH
24分 40分 68分 #27AKASHDEEP SINGH、66分 #18MALAK SINGH

オマーン : 58分 #6 MOHAMMAD HOOBAIS AL SHAR

<戦評>

インドのセンターパスにより前半戦が開始された。5分、インドがPCを取得。#30AMIT ROHI DASがドラックシュートを放つもオマーンGKがナイスセーブを見せ得点とはならない。6分左サイド混戦の中からインド#7MANPREET SINGHが#5KOTEH ATIT SINGH KHADANGBAMにパス。プッシュシュートを決め先制点を挙げる。11分インドはPCを取得すると#4GURJINDER SINGHが豪快なドラックシュートをゴール右上へ決め2点目を挙げる。13分インド#27AKASHDEEP SINGHからパスを受けた#31RAMANDEEP SINGHがスピードあるドリブルで抜け出し、サークルイン。得点のチャンスだったが、オマーンDFに倒されPSを取得。#2SUKHMANJIT SINGHがゴール左下へ放ったボールは、GKの好セーブにより得点には至らない。対するオマーンは13分PCを取得。#6MOHAMMAD HOOBAIS AL SHARがドラックシュートを放つがGKに阻まれ得点には結びつかない。インドのペースで試合は進み24分インド#23IMRAN KHANが左サイドから#27AKASHDEEP SINGHへパスをすると、そのままプッシュシュートを決め3点目を挙げる。3-0で前半戦を折り返した。

後半に入ってもインドは攻撃の手を緩めることはなく、相手陣内へと攻め込む。40分インド#20TALWINDER SINGHがゴール左サイドからサークルトップへ折り返しのパス。#27AKASHDEEP SINGHが受けヒットシュートを決め、4点目を挙げる。点が欲しいオマーンは58分PC取得。#6 MOHAMMAD HOOBAIS AL SHARが放ったドラックシュートはGKに当たるもそのままゴールへ入り、1点を返す。59分インドはPCを取得するが、パスが合わずオマーンDFにカットされる。オマーンはそこから速攻を仕掛け、#12SHIHAB NAHADHがサークル内へパスを送るが、ゴール前を通過し、チャンスを活かせない。インドの攻撃は激しさを増し、66分#27AKASHDEEP SINGHが左サイドからドリブルでサークル内へ進入。ゴール前にいる#18MALAK SINGHへパスを送るとヒットシュートを決め5点目を挙げる。続く68分、右サイド23m付近から#14PARDEEP MORがサークル内へボールを打ち込む。#27AKASHDEEP SINGHがボールを受け、リバースヒットでゴール左上へ決め6点目を挙げる。そのまま試合は終了し、6-1でインドが勝利した。

この結果インドが5位、オマーンが6位となった。

テクニカルオフィサー	K.Ananthavale(MAS)	アンパイア	Kamran Hussein(PAK)
ジャッジ	Asif Khan(PAK)		Shin Dong Yoon(KOR)
	Liu Chengjun(CHN)		

第2試合

$$\text{中国 } 0 \begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -2 \end{pmatrix} 3 \text{ マレーシア}$$

<得点>

中国 :

マレーシア : 2分 51分 #10Faizal Saari、46分 #4 Muhammad Azammi Adabi

<戦評>

マレーシアのセンターパスにより前半戦が開始された。開始直後の2分、マレーシアはPCを取得。#10Faizal Saariがゴール右下へ強烈なドラックシュートを放ち先制点を挙げる。対する中国は11分、#26AO WEIBAOが自陣からスクープでボールを前線に送る。#11LI ZECHENGがそれを受けると、DFを振り切りGKと1対1のチャンスを作る。しかし、GKの好セーブにより得点には至らない。中国は12分、PCを取得。#15DU TALAKEがドラックシュートを放つもマレーシアのDFが体を張ってゴールを死守する。中国は徐々にペースを掴み始め得点のチャンスを作るが、マレーシアのGKを中心とした堅い守備を破ることは出来ない。0-1のまま前半戦を折り返した。

後半戦に入っても中国の攻撃は続く。42分#5WANG ZTPENGは左からのロングパスを受けると、ゴール前へ打ち込む。#16DU CHENがタッチシュートを狙うが、GKに止められ得点には至らない。マレーシアは44分、右サイド23m付近からのパスを受けた#13Ismail Bin Abulはドリブルでサークルイン。DFに倒されPSを取得。#10Faizal Saariがシュートをするも、ボールは右外へ外れ得点には至らない。そこから試合はマレーシアペースとなり、46分#7Amirullah Bin Zainolが右サイドからスピードのあるドリブルで回り込む。ゴール前の#4Muhammad Azammi Adabiへパスを送りタッチシュート。2点目を挙げる。さらに51分、#6Muhammad Marhan Mohd Jalilからパスを受けた#10Faizal Aaariはドリブルでサークルイン。左へ切り込むと、リバースヒットを放ち得点。3点目を挙げる。対する中国は53分PCを取得。ドラックシュートを放つがGKに止められる。そのまま試合は終了し、0-3でマレーシアが勝利した。この結果、中国が4位、マレーシアが3位となった。

テクニカルオフィサー	Koichi Ueda(JPN)	アンパイア	Yuji Hosakawa(JPN)
ジャッジ	Rakesh Bahtia(IND)		Ripudarman Sharma(IND)
	Asif Khan(PAK)		

第3試合

$$\text{パキスタン} \quad 3 \begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix} \quad 1 \quad \text{日本}$$

<得点>

パキスタン : 40分 #10 MUHAMMAD RIZWAN、61分 #9 ABDUL HASEEM KHAN
65分 #23 AMMAD SHAKEEL BUTT

日本 : 11分 #11 川上 啓

<戦評>

日本のセンターパスにより前半戦が開始された。日本は11分#11川上啓が左からドリブルで持ち込み、サークル内の#32橋へパス。DFにボールを奪われるも、そのこぼれ球を#11川上啓が押し込み先制点を挙げる。パキスタンは、力強いセンターリングやスピードのあるドリブルで日本陣内へ攻め込みゴール前へボールを集める。何度もシュートチャンスを作るが、日本の粘り強い守備に阻まれ1点を取ることが出来ない。0-1で前半戦を折り返した。

後半戦に入り、パキスタンが猛攻を仕掛ける。40分、#8SHAQAT RASOOLは、サークル内の#10MUHAMMAD RIZWANへパスを送る。それをゴール正面から振り向きざまにヒットシュートし、得点。同点に追い付く。日本は、46分PCを取得。ドラックシュートのフェイントから左へボールを流し、#32橋がドラックシュートするも、DFに止められる。パキスタンはそこから速攻を仕掛ける。#10MUHAMMAD RIZWANが左サークルトップでパスを受け、ヒットシュートを放つも、得点には至らない。61分、パキスタンは、右サイドからシュートを打つ。GK#1高瀬がセーブするも、このリバウンドを#9ABDUL HASEEM KHANがブッシュシュートで得点。逆転する。勢いに乗ったパキスタンは65分PCを取得。バリエーションから右へ回したボールを#19MUHAMMAD IMRANがスイープシュート。日本GK#1高瀬がセーブするも、ゴール前へこぼれたボールを#23AMMAD SHAKEEL BUTTが押し込み、3点目を挙げる。試合はそのまま終了し3-1でパキスタンが勝利した。

この結果によりパキスタンは2大会連続2度目の優勝、日本は準優勝となった。

テクニカルオフィサー	Alfred Chan(HKG)	アンパイア	Lingam Karupusamy(MAS)
ジャッジ	K.Ananthavale(MAS)		Jang Jung Min(KOR)
	Liu Chengjun(CHN)		

男子最終順位

第1位	パキスタン	2大会2度目
第2位	日本	
第3位	マレーシア	
第4位	中国	
第5位	インド	
第6位	オマーン	

得点王	#10 ファイザル サーリ（パキスタン）9点
ゴールキーパー賞	#1 高瀬 克也（日本）
最優秀選手賞	#14 ムハマド トラック（パキスタン）
フェアプレー賞	日本